

**英会話講師チカラの  
読むだけで“英語が上達する”  
英語上達法レポート**



**英会話講師チカラ著**

## 本テキストの内容について

はじめに

レッスン1 私が留学前にしていた英語学習法とは？

レッスン2 英語上達するのに大事な3つのこととは？

レッスン3 最短で英語上達するために、まず最初に行うべきこととは？

レッスン4 英単語を効率よく覚える方法とは？

レッスン5 何でネイティブの言っていることが聞きとれないのか？

レッスン6 日本人の英語の弱点とは？

レッスン7 英語を話す時に注意すべきこととは？

レッスン8 英語を聞く時に注意すべきこととは？

レッスン9 英語ビギナーでも実践ですぐ英語が使えるようになる英文法集中講座

レッスン10 日本語で考えずに英語を理解する方法とは？

最後に

## はじめに

はじめまして！

英会話講師のチカラです。

私は、22歳になるまで英語が全く話せませんでした。

自分なりに工夫しながら英語学習を頑張っていましたが、  
いっこうに英語は上達しませんでした。

私の当時の英語力はというと、英会話のテープを聞いても何を言っているのか全然わからないレベルで、リスニングをしながらテキストをやっとのことで追っていける程度でした。

それでも帰国子女でもない私が、それからバイリンガルになるまで英語上達することができ、カナダで日本人をホームステイに受け入れたり、英会話講師を務めたりしました。

一つ理解しておいて欲しいことは、英語学習では、全くのビ

ギナーが短期でネイティブとコミュニケーションを取れるまでのレベルに一気になれるような魔法はないということです。

でも、毎日コツコツと英語学習の努力をする人は最終的にその努力は報われる日がきます。

でも、

ただ英語学習を行うだけではなかなか英語がなかなか上達しないのも事実です。

やはり、

効率的に英語学習を行っている方と、ただやみくもに英語学習を行っている方では当然ながら英語上達の速度がかなり異なってきます。

私も留学に行く前にはボキャブラリーアップの学習本、アメリカドラマの英語のダイアログを見ながらリスニング、アメリカのハイスクールもののドラマを借りてきてみるといった

英語学習法をしていました。

でも正直、今思い返すと、その時の私のレベルでそういった英語学習法が私にとって効果があったかというところとあやしいところ

です。  
それから留学して初めて**どんな英語学習法をすれば、英語が上達するの**かがよくわかりました。

貴方には私の経験や実績から自信をもって効果的な英語学習法を教えます。

でもその前に私が留学前に行っていた勉強法をご紹介しますので参考にして下さい。

正直、私には全然効果がなかったと思うのでもしも貴方が以前の私と同じように英語ビギナーなら最初に紹介する英語勉強法をそのまま真似しないで下さいね（笑）

あくまでも私の経験を参考にするだけにして下さい。

# レッスン 1

## 私が留学前にしていた 英語学習法とは？

私が留学前にしていた英語ビギナーにとって“間違っただ”英語学習法を紹介します。

### ■音声付の TOEFL の単語集と熟語集のテープを聴く

私は音声付の TOEFL の単語集と熟語集をテープで、単語や熟語を覚えるために何度も聞いていました。

そのテープは、英語で単語や熟語を言った後に日本語訳が入るので、何度も聞いていると日本語訳が耳について気になりました。

正直、この英語学習法はあまり効果がなかったと思います。

## ■アメリカ英語のドラマから収録したダイアログを聴く

アメリカ英語のドラマから収録したダイアログをインターネット上でダウンロードし、ダイアログの英文を読みながら音声を聞く練習もしましたが、そのドラマの英語が早すぎて意味がなかったような気がします。

後ろで聞いていた父（父親はバイリンガルです）も、

「そんな早い英語を聞いても、左耳から右耳に流れるだけで意味がない」

と言っていました。私はその練習法が効果があると思い込み頑固に続けました。

後になり、父が言っていたことが、正しかったと気が付きました。

## ■ストーリー制になっている本で学習

私が使っていた英語学習本は、日本人女性がアメリカに渡り、寮で生活しながら学校に行ったり色々な出会いがあったりと日本人女性のアメリカでの経験(フィクション)をストーリー制の本にしたものです。

本を開くと、左のページは英語のストーリーがあり、右のページは日本語の対訳になっていました。

この本では、熟語やスラングなどが中心に取り上げられていました。

付属のCDには、日本語が入っていないので、聞き流しの英語教材にいいと思い、何度も繰り返し聞き流しました。

## ■写真付きで解説してある発音の本を購入

海外に行く前に一応、発音は大事かなと思い、写真付きで解説してある発音の本を買い、その本を一通り読んでみました。



留学する前に私が行っていた英語学習はこんな感じで、正直どんな英語学習法が効果あるのかわからなかったというのが本当のところです。

英語ビギナー方は、以前の私のように、英語勉強をしても、本当に英語が上達するのだろうか？という不安があると思います。

でも、私が英語上達した経験を元に書いた英語上達法レポートを読んでいただければ、これからどうやって英語勉強をすれば、英語が上達するかがわかるようになるでしょう。

## レッスン 2

### 英語上達するのに 大事な3つのこととは？

英語上達するのに大事な3つのことを順番に話していきます。

まずは、英語上達するのに大事な1つ目のことです。

私は留学前に色々と英語勉強法を行っていたのに、何で英語が上達しなかったのでしょうか？

それは、

私は**以前、私のレベルに合っていない英語勉強法をしていたから**です。

たとえば、

英語を聞き流す学習法を例に説明しましょう。

英語を聞き流す学習法は、英語をある程度、聞き取れるだけの「英語耳」ができていないと、ただ単に英語を聞き流しているだけで、はっきり言って、

## **全然効果がありません。**

よく巷に「聞き流すだけで英語の達人になる」とか「聞き流すだけで英語リスニングがアップする」という教材が出回っていますが、私は英語ビギナーの方がそういった英語勉強法で英語が上達するとは思いません。

少なくとも私は留学前に英語教材を聞きまくりましたが、後になって留学前に行っていた聞き流すだけのリスニング勉強法が全然、効果がなかったことに気が付きました。

でも、現在は英語耳ができていますので、聞き流すだけのリスニング教材を聞き流すだけでリスニング力が更に伸びていきます。

ちなみに私は映画を字幕なしで理解したり、ネイティブが通常のスピードで話すことを日本語を介さずに理解できます。

「それでは、聞き流すだけのリスニング勉強法はどこまで英語耳ができていれば効果がでるようになりますか？」

そうですね、リスニング教材を聞いていて、言っていることが少なくとも 30%程度は聞き取れないとなかなか効果は出ないでしょう。

英語を聞き流す学習法の例からもわかっていただけたと思いますが、

**貴方のレベルに合った効果のある英語勉強法を行うことが英語上達には必須だということです。**

では、2つ目の英語上達に大事なことは何かと言うと、

**「英語を話せるようになってどうしたいという目標を定める」**

ことです。

英語は、ただ何となく勉強していてもなかなか上達しません。

英語が上達した人に話を聞いてみると、みんな、しっかりと目標を持って英語の勉強をしていたことがわかります。

では、英語の目標の立て方ですが、

ただ、「英語が話せるようになりたい」といった、あいまいな目標ではなく、もっと具体的に、

「英語を話せるようになって、海外旅行にツアーなしで行けるようになりたい」

「英語を話せるようになって、外国人の友達をつくって一緒に出かけたり、英語でおしゃべりを楽しめるようになりたい」

「英語を話せるようになって、海外で生活してみたい」

というように具体的に英語を話せるようになってどうしたいかという目標を立てて下さい。

そして、英語を話せるようになってどうしたいかという目標をいつも思い出しながら英語を勉強していると、目標を達成するために英語勉強がうまくいくようになります。

そして、大きな目標に加えて、普段、英語の勉強をする時も、目標を持って学習することが大事です。

たとえば、英語の文法を学ぶテキストを購入したら、「毎日、そのテキストを2ページずつこなし、テキストを最後まで終わらせる」ことを目標にしましょう。

3つ目の英語上達に大事なことは、

**「モチベーションを保って継続的に英語学習を行うこと」**

です。

私は、昔から、「いつか留学してみたい」という夢や「ネイティブのようにかっこよく英語を話せるようになって世界中に外国人の友達をつくりたい」という夢がありました。

私はそういった夢があったので、夢を実現するために英語を上達しようと一生懸命頑張りました。

またそういった夢を達成しようとする事自体がモチベーションにつながり普段から継続して英語学習を行っていました。

モチベーションを保ちながら、英語学習する方法として、自分が楽しいと思える、自分が無理なく続けられる方法で英語学習をすることです。

また、たまに海外のドラマや映画のDVDを観ることも、英語学習にいい刺激になるでしょう。

そして、たとえば、自分の目標が達成できたら、自分へのご褒美に海外旅行に行ってみてもいいでしょう。

海外旅行に行ったことがあるなら、前回、海外旅行に行った時のことを思い出してみてください。

英語が話せたらなと心から強く思いませんでしたか？

その気持ちを保ちながら英語学習をすることが大事です。

海外旅行に行くことは、英語を習得しようという意欲を高め、英語のモチベーションを上げることに効果があります。



## レッスン3

**最短で英語上達するために、  
まず最初に行うべきこととは？**

英語学習を行う上で大事なことをいくつかお話します。

### 「毎日、継続的に英語学習を行う」

毎日、継続して英語学習を行えばこれから数ヵ月後には貴方の英語は今とは見違えるほど上達していることでしょう。

ただし、

**英語学習は毎日継続的に行わないと効果が出ない**

と言いますが、その通りでどんなに効果のある英語学習法でも、継続的に実行しないと、効果が出ません。

ところで、

## 「貴方は英語が上達してどうしたいですか？」

留学してみたい。

外国人の友達が欲しい。

ツアーを使わずに海外旅行をしてみたい。

映画を字幕なしで楽しんだり、英語のペーパーバックをたくさん読んでみたい。

というように、何か英語が上達したら、どうしたいという目標を持つようにして下さい。

その目標を常に思い出しながら、目標を目指して日頃から英語学習のモチベーションを高めましょう。

英語は毎日、効果的な方法でコツコツ学習していれば必ず効果が出てきます。

まずは、

「英語を話せるようになったらどうしたいのか」という目標をしっかりと立てて、夢を持って頑張ってください。

英語が話せるようになると本当に楽しいです。世界中に友達がいるということは人生の宝です。今でも私はネイティブと英語で話していて、

英語で思ったことを相手に伝え、英語で相手の言っていることを理解している自分にあらためてうれしくなる

時があります。

貴方も英語を習得するための道を踏み出したのですから私と一緒に是非目標を達成できるまで英語学習を頑張りましょう。

## 「ネガティブに考えないようにする」

私が今まで生徒さんに英語を教えていて気が付いたことがあります。

生徒さんでよく Difficult（難しい）と口癖のように言う方がいましたが、英語を勉強する時には、

**絶対に Difficult と思ったり、言わないようにして下さい。**

Difficult と思ったり言ったりすると、あなたの脳に「もうあきらめた」という消極的な信号が送られてしまい、できることもできなくなってしまうのです。

**英語学習を行う際には何事も positive（前向き）に行う attitude（姿勢）が大切です。**

## レッスン 4

### 英単語を 効果的に覚える方法とは？

私はよく、

「英単語をたくさん覚えるにはどうすればいいですか？」

「ボキャブラリーを増加させるいい方法はありませんか？」  
という質問を受けます。

そして、私が、

「では今はどのように英単語を覚える学習法をしているのですか？」

と聞くと、TOEIC 対策の英単語本などを使って、ひたすら、  
英単語と日本語の意味を暗記していると答えます。

でも、私の経験から、そして、そのような学習法をしている

方の経験からはっきりと言えます。

## **英単語を日本語の意味と併せてただ暗記する学習法は意味がありません**

英単語をただ丸暗記するだけでは実践では使えないのです。

考えてみて下さい。

英語を話そうとして、(日本語の) この意味の単語は、などと考えていたら、全然、英語が口から出てきませんよね。

英文を書くだけでしたら、ゆっくりと時間を使いながら、日本語の意味と併せてただ丸暗記しただけでの英単語を書けるかもしれませんが、英語を話したり、英語を聞いたりする時には、いちいち日本語の意味で英単語を考えている時間がありません。

それでは、実践的に使える英単語を身につけるには、どうすればいいかと言うと、

実践で使える英単語を身につけるには、辞書でその単語を調べた時に、意味をチェックするだけでなく、例文をよく見て、例文からその単語の使い方を学び取るようにしましょう。

そして、できれば、自分で例文を紙に書き出したり、その例文の中の単語を、他の自分が知っている単語と置き換えて書き出すようにします。

また私がオススメしていることは、英英辞典で単語の意味を調べることです。

最初は、英英辞典を使うことに抵抗を感じるかもしれませんが、英英辞典を使うことに慣れてくると、(英英辞典では意味が英語で説明してあるので、英語で意味を考えることに慣れるので) だんだんと英語の思考回路ができてきます。

電子辞書を使うと、英英辞典で、まずは意味を調べて、意味がわからなければ、ボタンを一つ押すだけで、英和辞典の意味に切り替えることができます。

また英単語を覚えるには、英単語だけを覚える学習法をする

より、リーディングやライティングなどの学習をしながら、英単語を覚えるようにした方が効果的です。

たとえば、洋書を読みながら、知らない意味をチェックするようにすると、その単語を実際にどうやって使えばいいのかわかるようになりますし、そうやって調べた単語は、結構、記憶に残りやすいです。

英単語を覚えるためのライティング学習法の一つは、英語でその日の出来事を日記に書くことです。

英語で日記を書く内容は、日常英会話で話す内容と同じなので、英語で日記を書くことで、スピーキング力がついてきます。

また、これは英語でどうやって言うんだらうと辞書を調べながら英文を書くので、実践で自分が言いたいことが言えるようになるためのボキャブラリーが増えてきます。



## レッスン5

### 何でネイティブの言っていることが聞きとれないのか？

英語の教材は、テキストをみながら聞き取れるけど実際にネイティブと話したり映画をみたらネイティブの言っていることがわからないという方は多いと思います。

なぜでしょうか？

理由は色々ありますが

- ネイティブはテキストについているCDのようにゆっくりとしゃべらない
- 周りの雑音が邪魔をして聞き取りづらくなる
- ネイティブはよくスラングや句動詞 (phrasal verb) を使って話す
- ネイティブが話す時にはよく音が変化し、言葉が省略される

- ・相手の言うことを理解しようとしてリスニングしていない
- ・リスニングをする時に推測をしている

ということが考えられます。

一つずつ詳しく説明していきます。

## 「ネイティブはテキストについているCDのようにゆっくりとしゃべらない」

英語のテキストのゆっくりと、はっきりとしたスピーチに慣れていると、実際にネイティブが話したことを聞き取ろうとしても早すぎて圧倒されてしまうでしょう。

ただネイティブとマンツーマンで話す時には、私達の母国語が英語でないことがわかっているので、通常、ゆっくりと（または貴方が理解できるスピードで）話してくれるはずです。

でも、もっとゆっくりと話してほしかったら遠慮せずに  
Could you please speak more slowly? と言ってもっとゆっくり話してもらいましょう。

また言っていることがわからなかったら、

Pardon?

I beg your pardon?

Could you repeat that? I couldn't catch that.

I couldn't hear you.

I can't hear you.

I'm sorry?

と言って、もう一度、聞きとれなかったことを言ってもらいましょう。

Pardon? がオススメです。

言いやすいし、相手に与える印象もいいです。

I'm sorry? も言いやすいですし、このフレーズをよく使うネイティブも多いです。

## 「周りの雑音が邪魔をして聞き取りづらくなる」

殆どのテキストについているCDにはバックグラウンドに雑音

が入っていません。

実際にネイティブと会話をする時には、人の多い街の中、電車の中、人がまわりで話しているレストランやカフェ、また音楽が流れているパブなどで話すことが考えられます。

雑音が入っていないCDだけでリスニングを練習していると、いざ実際に街の中などでネイティブと話す場合に、聞き取りにえらく苦勞する可能性があります。

対応策としては電車の中などで片方だけのイヤホンを使ってリスニングの練習をするということなどがあります。

## 「ネイティブはよくスラングや句動詞 (phrasal verb) を使って話す」

ネイティブは当たり前のようにスラングや phrasal verb を会話の中でよく使います。

よく、スラングは覚える必要がないと言う人がいますが、自分がスラングを使わないにしても知識として「よく使われて

いるスラング」くらいは覚えておいた方がいいです。

日本語でも特に若い人はよくスラングを使いますよね。

「超」という言葉もスラングですよ。

英語で言うと、super がそれに当たります。

これもスラングでたとえば、It was super cool! (超かっこよかったよ!) のように使えます。

phrasal verb は、動詞 + 前置詞で、意味をなす句動詞のことです。

たとえば、「延期をする」という意味の postpone は、phrasal verb の put off で言い換えられます。

postpone = put (動詞) + off (前置詞)

私自身、実際、ネイティブが postpone を会話の中で使っているのを殆ど聞いたことがありません。

でも、ネイティブが話している会話の中で put off はよく耳にします。

postpone という比較的、難しい単語は、簡単な単語 put と off が合わさるだけで全く別の意味になるのです。

phrasal verb はできるだけ多く知っていた方がいいです。頑張って一つでも多くの phrasal verb を覚えましょう。

絶対に役立ちます。

## 「ネイティブが話す時にはよく音が変化し、言葉が省略される」

まず「音の変化」についてですが、例を言うと Have a good day! が会話の中では Hava good day! となります。

Have の後ろに来る a が消えてしまっているのではなく、前の have と a がくっつきます。

動詞の後ろに冠詞 a がくるとくっついて一つのかたまりに

なります。たとえば、

I need a pen. → I needa pen.

他の例は、It's ok. は 't ok. となり、I が消えて 't (ツツ) になります。It's ok.

(イツツオウケイ) → 't ok. (ツツオウケイ) といった感じです。

次に「言葉の省略」については、たとえば I hope you liked it. → Hope you liked it. のように主語の I が省略されることがあります。もう少し例を挙げると

Have you been there? → Been there?

I'm sorry I'm late. → Sorry I'm late.

**「相手の言うことを理解しようとしてリスニングしていない」**

実は私がこれにあたり、カナダ人の友人にもたまに You don't listen! と言われたことがありました。

英語を聞き流してしまうと、無意識に Yeah. などと答えていて、誤解を生むことがあります。

また場合によっては相手を怒らせてしまうことにもなりかねません。

hear とは「(聞こえてくるものを) 聞く」で listen は「(聞こうとして) 聞く」という意味です。

Listening は相手が言っていることを理解してあげようとして聞かないといけません。

私の欠点はたまに相手の話を聞いていて集中力を欠いてしまうことでした。

## 「リスニングをする時に推測をしている」

推測するは英語で guess や make an assumption などと言いますが、「推測」も良し悪しで最初の内は相手の言っていることの中でわかっていることをピックアップしてそのわ



かった情報の中から相手の言いたいことを推測すればいいのですが、推測する癖は後々厄介になってきます。

私もカナダ人の友人が何かを言いかけて、それが自分の思っていたことだったり知っていることだと推測し「あーそれね。〇〇だよね。」と言ったように推測してしまう悪い癖がありました。

相手の言ったことを集中して聞き取ろうとしなかったために「聞こえてきて頭に残っている範囲」の中から意味を推測してわかったつもりになってしまう悪い癖もありました。

ネイティブの話す英語が大体わかる英語のレベルになったら、以前の私のように推測しながら聞かないようにして下さい。

英語ビギナーの頃は、推測しながら、聞くことはある意味しょうがありませんが、推測しながら聞くことは、あとあと癖になりやすいです。

基本的には、相手の言ったことが聞きとれなかったら、すぐに Pardon? と聞き返す癖をつけましょう。

## レッスン 6

### 日本人の英語の 弱点とは？

私が海外で痛く痛感したのが、日本人は特に発音が悪いということです。

多くの日本人英語ビギナーは英語をカナカナのように話します。

日本に長くいて日本人の英語に慣れている外国人にはカナカナ英語でも通じるかもしれませんが、海外に行った途端にカタカナ英語ではまったく通じなくなります。

また、日本人は、スピーキングとリスニングが他の国の人に比べて弱いです。

海外でもよく日本人は、文法はできるけど、英語を話すのが下手だというレッテルを貼られています。

残念ながら日本の学校教育では、英語を話すように、そして英語を聞き取れるようになるようなレッスンを行っていません。

私は海外に行ってから、日本の英語の授業でもっとスピーキング重視のレッスンを行っていてくれればとよく思いました。

私は、オーストラリアに行ってから、またアメリカに行っても、発音にコンプレックスを持つようになりました。

私は海外にいる時に発音を改善しようと、色々な発音の本やテープを買って勉強しました。

発音向上のコツは、何かテープか CD 付きの英語の本を買って、自分が話している英語をテープにとって、ネイティブの発音と自分の声を比べて、なるべくネイティブの発音に近くなるように何回も練習することが効果的です。

## レッスン7

### 英語を話す時に 注意すべきこととは？

ネイティブと英語を話す時に、意識して欲しいことをお話します。

下記のことを行うだけでも、あなたのスピーキング力が上達するはずです。

#### ■相手の目をみて英語を話すこと

日本では、あまり相手の目を見て話さなくても失礼にはなりません。欧米では、会話をする時に、相手の目を見ないと興味がないように思われてしまいます。

#### ■英語を話す時には発音を気にしない

発音が大事だとは、散々言ってきましたが、英語を話す時は、

発音のことを考えずに話しましょう。

発音に意識し過ぎるととても変な英語になってしまいます。

### ■英語を話す時には文法を気にしない

英語を話す時には、文法のこと、気にしないで話すようにしましょう。日本人は、英語を話す時に文法を意識し過ぎる傾向にあります。

英語ビギナーから英語中級者くらいのレベルの時は、文法的に正しく話そうとすると、英語が全然話せなくなってしまうます。

英語を文法的に完璧に話す必要はありません。

英語は、言語であり、言語はあくまでもコミュニケーションをとるためのツールだということを忘れないで下さい。

たとえ、語順がめちゃくちゃでも結構、英語は通じるものです。

ヨーロッパ人の友達は、文法は結構めっちゃくちゃでしたけど、問題なくネイティブに英語が通じていました。

ヨーロッパでは、文法よりもスピーキングやリスニング重視で英語を習うようです。

### ■英語を話す時には文法を気にしない

言葉が出てこない時には、Well…（えーと）と言って間を取ったり、"Ahhh"（アー）などと伸ばしていいながら間をつなぎましょう。

言葉が出なくなって黙っているより全然いいです。

何かを言うことで、相手は、これからこちらが何か話そうとしているのだなと思ってくれます。

## レッスン 8

### 英語を聞く時に 注意すべきこととは？

では、英語を聞く時にはどんなことを意識すれば、リスニングがうまくいくのかと言うと、

#### ■相手の話を聞く時は、目を見る

相手の話を聞く時は、目を見ましょう。

日本では、あまり相手の目を見て話さなくても失礼にはなりません。欧米では、会話をする時に、相手の目を見ないと興味がないように思われてしまいます。

#### ■相手の言ったことに反応する

相手の言ったことに合わせて、答えたり、反応したりしましょう。

相手が言ったことに対して、自分もそうだと思えば、I agree. とか I think so,too. とか Right. などと言いながらうなづくようにします。

相手の言ったことに対して、反対の意見なら、I don't think so. とか I disagree with you. とか言います。

### ■何でも、yes とか yeah で答えないようにする

Yeah は Yes と言っているのと同じです。

相手の言っていることに対して、何でもかんでも yeah と言っていては誤解をうんでしまいます。

日本人は、yeah や yes と何でもうなづく癖があるようなので気をつけましょう。

### ■わかったふりをしない

相手が言っていることがわからなかった時は、わかったふり



をしないで、Pardon? とか Excuse me? とか Sorry? とか I didn't catch that. とか Can you say it again? と言いましょ  
う。

わかったふりをして、後で相手に言っていることが実はわ  
かっていなかったとばれれば、相手は、大変、不快に思うで  
しょう。

相手は、wasting time (時間の無駄) だったと思うはずです。

たとえ、2回でも3回でもわかるまで聞き返せば、相手は、  
きちんと答えてくれます。

わからない時は、わからなかったという意思を示し、聞き返  
す癖をつけましょう。

## レッスン9

### 英語ビギナーでも実践ですぐ英語が使えるようになる英文法集中講座

「英語を話せない」

また「英文をどう組み立てればいいのかわからない」という方のために基礎的であるけど、とても大事な文法事項を説明します。

英語を話すのに、まず大事なことは次の5点です。

1. 5つの文型のパターンを覚える
2. 実践で使える動詞と形容詞と前置詞を覚え、これらの要素をどう文章に組み込むかを理解する
3. 過去、現在、未来の時制を使えるようにする
4. 一般的な平叙文、疑問文、否定文を使えるようにする

## 5. 「5W1H」の疑問文を使いこなせるようにする

ここでは、「文型のパターンを覚える」ということについて少し詳しくお話しますね。文型には大きく分けて以下の5種類しかありません。

第一文型 S + V (主語 + 動詞)

第二文型 S + V + C (主語 + 動詞 + 補語)

第三文型 S + V + O (主語 + 動詞 + 目的語)

第四文型 S + V + O + O (主語 + 動詞 + 目的語 + 目的語)

第五文型 S + V + O + C (主語 + 動詞 + 目的語 + 補語)

S は subject、V は verb、O は object、C は complement の略です。

subject や verb という言い方は英語で文法 (grammar) を

習う際によく使うので覚えておきましょう。

SとVに関しては、説明しなくてもわかると思います。

では補語 complement とは実際どんなものでしょうか？

一言で言うと、補語は、主語を修飾するものです。

文型を説明する場合、よく

**主語 = 補語**

と説明されます。

多くの場合、補語 complement には形容詞 (adjective) がきます。形容詞は主語や動詞を修飾するために使われるからです。

まずは、第一文型 S + V (主語 + 動詞)、第二文型 S + V + C (主語 + 動詞 + 補語)、第三文型 S + V + O (主語 + 動詞 + 目的語) を使いこなせるようにしましょう。

文型のパターンさえ覚えてしまえば、実践での使い方は簡単で、S と V と C に単語をいれるだけです。

英語では日本語と文の構造が逆で「誰が何をする / した」と最初にいうことを理解して下さい。まず「誰が」の主語を言うてから、「何をする」の動詞を次にいうというパターンです。

ここまでは英語の構造を理解し、単語さえ知っていれば問題なく使いこなせます。

第一文型から第三文型までの英語でも十分に基本的なコミュニケーションは取れるようになります。

## 第一文型 S + V (主語 + 動詞) の例

I **work** at the office.

(S → I V → **work**)

私は事務所で働いています。

I **got** up so early this morning.

(S → I V → **got**)

私は今朝とても早く**起きました**。

We **enjoyed** swimming at the river yesterday.

(S → We V → **enjoyed**)

我々は昨日、川で泳ぐのを**楽しみました**。

英語と日本語で主語と述語の位置関係が逆になっています。

英語ではここを理解することが重要です。

## 第二文型 S + V + C (主語 + 動詞 + 補語)

It **was sunny** yesterday.

(S → It V → **was** C → **sunny**)

(それは) 昨日は**晴れていました**。

Mary **looked sad** yesterday.

(S → Mary V → **looked** C → **sad**)

メアリーは昨日、悲しそうに見えた。

### 第三文型 S + V + O (主語 + 動詞 + 目的語)

I like sweet.

(S → I V → like O → sweet)

私は甘いものが(を)好きです。

Mary has a cute puppy named Clare.

(S → Mary V → has O → a cute puppy)

メアリーはクレアという名前のかわいい子犬を飼っています。

※ 目的語は、「～を」となる部分と覚えておきましょう。

下記の人称の変化の表も大事なので下記の表をしっかりと覚えてください。

昔、九九を習った時に「しくさんじゅうろく」のように覚

えましたが、ここでも同じように

「I my me mine」、 「you your you yours」と主格、所有格、目的格、所有代名詞をリズムよくセットで覚えましょう。

	主格	所有格	目的格	所有代名詞
単数	I	my	me	mine
単数	you	your	you	yours
単数	he	his	him	his
単数	she	her	her	hers
単数	it	its	it	なし
I の複数	we	our	us	ours
you の複数	you	your	you	yours
he と she と it の複数	they	their	them	theirs
単語の単数	student	student's	student	student's
単語の複数	students	students'	students	students'

上で学んだ文型のS（主語）の部分には、主格の単語（たとえば He や We）を入れて使います。

では、主語以外の部分の単語をあまり知らない人はどうすればいいのだろうか？ と思う方もいるかもしれません。



ボキャブラリーが少ない方は毎日リーディングをしてボキャブラリーを増やしていきましょう。

ごくごく簡単なリーディングから始めるようにして下さい。

簡単なリーディングの文章を使えば、簡単な文型を使った文章が使われているので、文型も同時に学ぶことができますでしょう。

下記の文章を主語と動詞と目的語の位置を意識しながら朗読してみましょう。

My name is Susan and I am 14. I am from New Zealand. I have an older brother and his name is Jason. He is 17 and is really tall. He has black hair and brown eyes.

He has a car. Sometimes he drives me to my friend's house. His car is blue and it goes really fast. He loves his car. He washes it on Sundays.

主語と動詞と目的語の位置に意識するだけで、英語の構造がわかりやすくなったように感じませんか？

上の文章では第一文型から第三文型までしか使っていません。

第三文型までの英語でも、かなりのことを英語で言えるようになります。まずは第三文型までの英語を使いこなせるようになりましょう。

それではここまでの仕上げに、今日の出来事を日記として英語で書き出して下さい。たとえ3行程度でもいいので、英文を作ってみましょう。

英語で日記を書くことは、第三文型までの文章に慣れるための効果的なアウトプットの学習法です。

朝起きてからの出来事を書いてみましょう。

たとえば、

I got up at seven, and I ate breakfast at seven thirty.

のように単純な文章で構いません。これは中学校で習う程度のレベルの英文ですが意外と実際に普段の会話で話す英語のレベルは貴方が思っている程、難しくありません。

**日本人はよく英語を話そうとすると難しく考え過ぎてしまい話せなくなってしまうのです。英語を話す時には、また英文を作る時にはもっと簡単にシンプルに考えるようにしましょう。**

## レッスン 10

### 日本語で考えずに 英語を理解する方法とは？

英語を話す時には、頭の中で日本語で考えなくても、話せるようにならないといけません。

また、英語を読む時も、聞く時もそうです。

### 英語を英語のまま理解するようにすることが大事です

日本語でいちいち意味を考えていては、TOEIC でも時間がなくなってしまいますし、実際の会話でも、日本語で意味を考えているうちに、会話がどんどん進んでいってしまいます。

それでは、英語を、日本語で考えずに理解するにはどうすればいいのでしょうか？

それは、英語を冒頭から、フレーズごとに理解していくのです。

英語と日本語では構造が逆なので、英語の単語が並んでいる順番に意味を理解できるようになるトレーニングをしましょう。

英語を冒頭から理解するのに、効果的な方法があります。それは、スラッシュリーディングと呼ばれるものです。

下記のように、フレーズごとにスラッシュし（切り）、意味をとっていきます。

（実際には日本語で考えませんが、英語と日本語の構造の違いを比べていただくために日本語の意味をつけました。）

He / has / a car.

彼は / 持っている / 車を。

Sometimes / he / drives / me / to my friend's house.

時々 / 彼は / 運転する（車で連れて行ってくれる） / 私を / 友達の家。

His car / is / blue / and it / goes / really fast.

彼の車は / です / 青い / そして / 走る / とても速く。

He / loves / his car.

彼は / 大好きです / (彼の) 車を。

He / washes / it / on Sundays.

彼は / 洗う / それを (車を) / 日曜日に。

スラッシュリーディングができるようになると、脳が英語の構造を理解でき、日本語で考えなくても、英語のまま、英語を理解できるようになります。

日本語で考えずに、スラッシュリーディングで英文を読むようにすると徐々に英語の思考回路ができてくるでしょう。

## 最後に

英会話講師チカラの読むだけで“英語が上達する”英語上達法レポートを最後まで読んでいただきありがとうございました。

この英語上達法レポートの中でお話した

「目標や夢をもって英語学習を行うこと」  
や

「貴方に合った英語勉強法を行うこと」

は当たり前のことのようで英語上達には、とても大事なことです。

貴方もこのマニュアルを読んだことを機会に英語を学んで将来どうしたいという目標を立てて下さい。

そして、

その目標をいつか達成してやる！

という意味を常にもって英語学習を行えば英語学習のモチベーションになりますし、その目標もきっといつか達成できるでしょう。

私も中学生の頃から、いつかホームステイをしてみたいという夢がありましたが、その夢をいつか現実にしたいという気持ちを忘れずに持ち続けたため、22歳を過ぎてからですが、その夢を達成できました。

しかも私のホームステイ経験は最高のものになりました。

英語に関しても私は英語をいつか流暢に話せるようになりたいという目標をもって頑張っていましたが、それも実現しました。

でも私が夢を実現し、バイリンガルにまでなれたのは、**行動を起こしたから**です。



あなたも、「英語を話せるようになってどうしたい」という目標持ち、毎日、20分ほど貴方に合った効果的な英語勉強を行えば、3ヵ月後に英語上達することができるでしょう。

これから一緒に英語上達できるように頑張りましょう！

英語コーチ・横田チカラ